FreePort i66A

インターネットFAX プリンタードライバー 取扱説明書

― Windows95/98 日本語版編 ―

本 書 の 内 容

1. インターネットＦＡＸのプリンタードライバーで何が出来るか
2. インターネットＦＡＸのプリンタードライバーの動作環境について
3. インターネットＦＡＸのプリンタードライバーのインストールについて
4. インターネットＦＡＸのプリンタードライバーの使用方法について

本書および本件ソフトウェアの内容は、予告無く変更する事があります。
（注 1）Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

1．インターネットＦＡＸのプリンタードライバーで何が出来るか

インターネットＦＡＸのプリンタードライバーは、ＬＡＮ接続されたインターネットＦＡＸを リモートプリンターのようにパソコンから印刷したり、あるいはインターネットFAXがメールとして受信印刷できるフォーマットに文書を変換してファイルとして登録する（「TIFFファイル作成」機能と言います）することが出来ます。
インターネットＦＡＸがメールとして受信印刷する場合は、インターネット上でのメールプロトコル と同じ、Simple Mail Transfer Protocol（以下「SMTP」と略す）を利用しています。 受信印刷する原稿データをメールの添付書類として扱います。
添付書類として付加する際にメールの拡張機能 Multipurpose Internet Mail Extensions （以下「MIME」と略す）を、利用しています。
従って、「TIFFファイル作成」後、インターネットＦＡＸへメールの添付書類として、 ファイルを送信する場合は、MIME機能を持っているメーラでメールを送信する必要があります。
「TIFFファイル作成」で登録されるデータは、ＦＡＸで利用される圧縮方式の Modified Huffman（以下「MH」と略す）で、圧縮したものに原稿のファクシミリ情報等の情報を付加して、 ファイル形式を Tagged Image File Format（以下「TIFF」と略す）にしたファイル形式になって います。

2．インターネットＦＡＸのプリンタードライバーの動作環境について

本書で説明しているのは、「Microsoft Windows 95/98 日本語版用」のインターネットFAXのプリンタードライバーソフトウェアについてです。

- CPU が 80386SX 以上（80486 以上を推奨）搭載のパソコン。
- Microsoft Windows 95/98 日本語版が動作できる環境。
- 最低必要メモリ容量は、12MB 以上。
- 使用ディスクメモリ容量は、 4MB 以上。

・ プリンタードライバーソフトウェアをオンラインで入手する為に、WWWブラウザが動作する事。
・ TIFFファイル作成機能を使用して、インターネットＦＡＸへメールを送信する場合は、ＭIME機能を装備しているメーラが動作する事。

3. インターネットＦＡＸのプリンタードライバーのインストールについて

pt95j**xxx**.exe のファイルが、Microsoft Windows 95/98 日本語版 用の プリンタードライバーソフトウェアのプログラムです。(注 **xxx** は、Version 番号です) また、lprjp**xxx**.exe のファイルがプリンタ機能を実現するために必要なＬＰＲです。 それぞれ圧縮されています)
それぞれのプログラムをダウンロードしてください。 既にＬＰＲがインストールされている場合は、lprjp**xxx**.exe ファイルのインストールは、不要です。 この場合は、以下 lprjp**xxx**.exe のインストールに関する部分は読み飛ばしてください。

インターネットＦＡＸのプリンタードライバーをインストールする前に、プリンタードライバーを インストールするパソコンとインターネットＦＡＸがＬＡＮ接続されている必要があります。

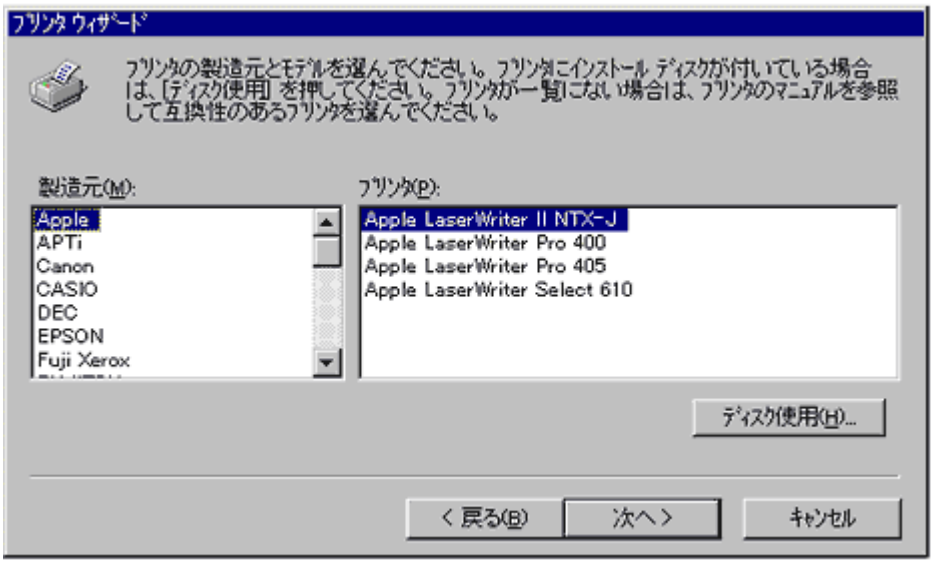
また、インストールの際にインターネットＦＡＸのＬＡＮ上での IPアドレス、および Windows95/98 のシステムＦＤまたはＣＤ(プリインストールモデルのパソコンの場合は関係なし)が必要になりますので、 あらかじめ確認および用意をしておいてください。

1. ダウンロードした pt95j**xxx**.exe と lprjp**xxx**.exe ファイルは、lzh 形式の自己解凍型です。 ダブルクリックすると解凍されます。ＭＳ－ＤＯＳプロンプトのウインドウを閉じます。
2. 最初にＬＰＲをインストールします。 既にＬＰＲがインストールされている場合は３へ進んでください。） lprjp**xxx**.exe ファイルを解凍して出来た Setup.exe をダブルクリックして、lpr Port Monitor DLL の Set up を行います。「ようこそ」で 次へ」をクリックすると、 完了画面が表示されますので「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択して、 「OK」ボタンをクリックしてください。再起動されます。
3. プリンタドライバをインストールします。 「スタート」ボタンをクリック、 設定」をポイント、 「プリンタ」をクリックして、 「プリンタ」ウインドウを表示させます。

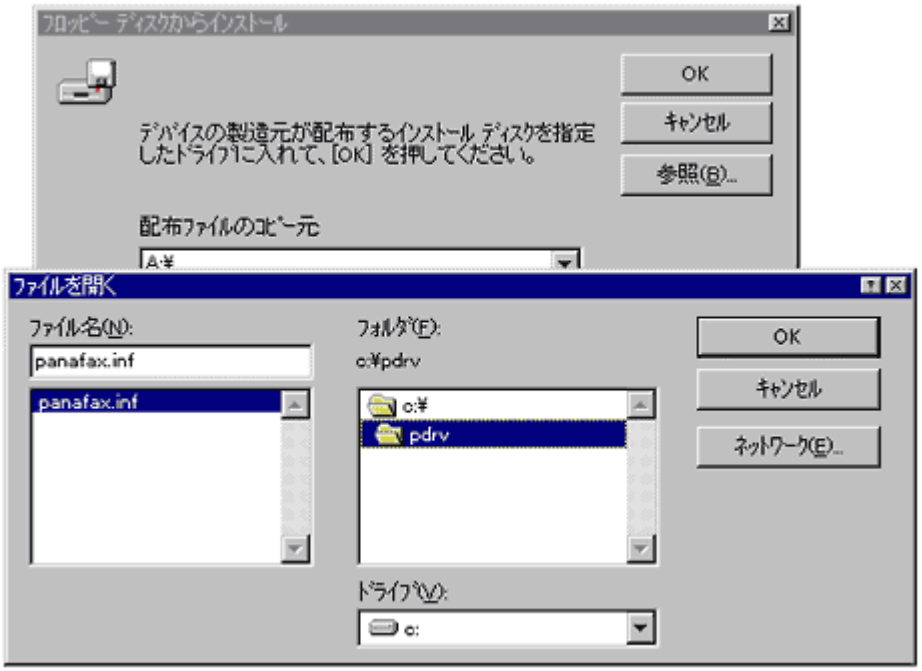
4. 「プリンタ」ウインドウ内の 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。 「プリンタウィザード」が表示されますので、 「次へ」ボタンをクリックします。

5. 「プリンタはどこに接続されていますか？」と表示され、ローカルプリンタかネットワークプリンタかを選択する画面が表示されますので、「ローカルプリンタ」を選択して、 「次へ」ボタンをクリックします。

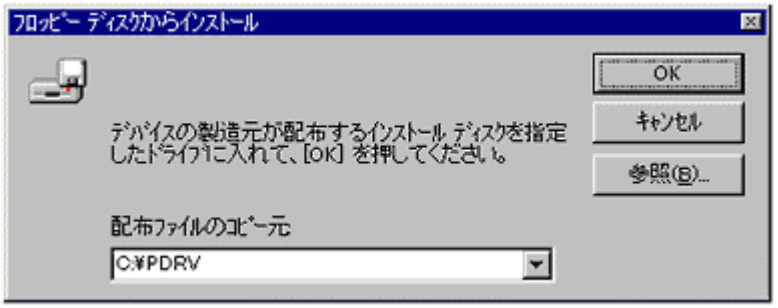
6. 製造元」「プリンタ」の表が表示されますが、「ディスク使用」ボタンをクリックします。



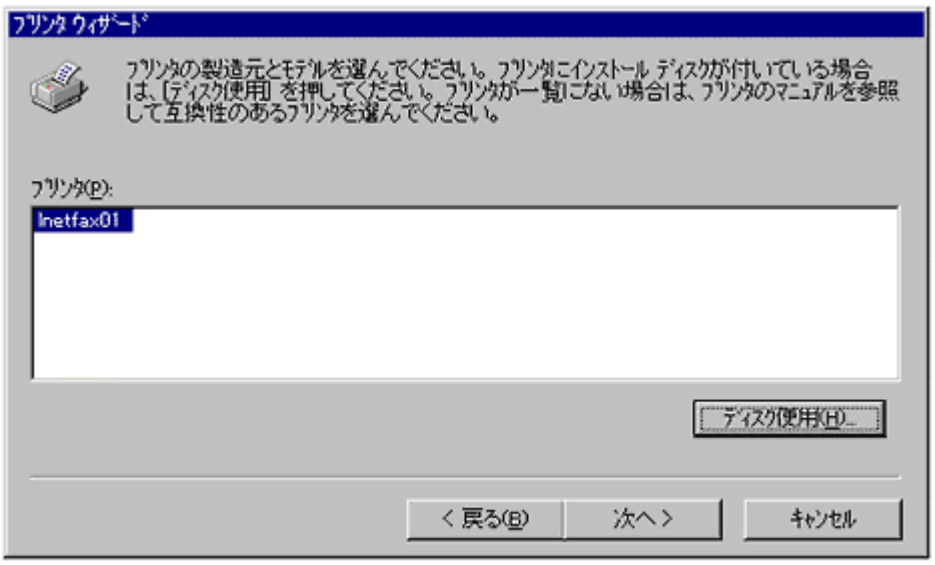
7. 「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されますので、 参照」ボタンをクリックするか、 配布ファイルのコピー元」に直接キー入力するかして 上記で解凍したファイルが在るフォルダーを指定します。



8. 配布ファイルのコピー元」にフォルダーの指定が出来たら、「OK」ボタンをクリックします。



9. 「プリンタウィザード」に戻り、『netfax01」を選択して、 次へ」ボタンをクリックします。

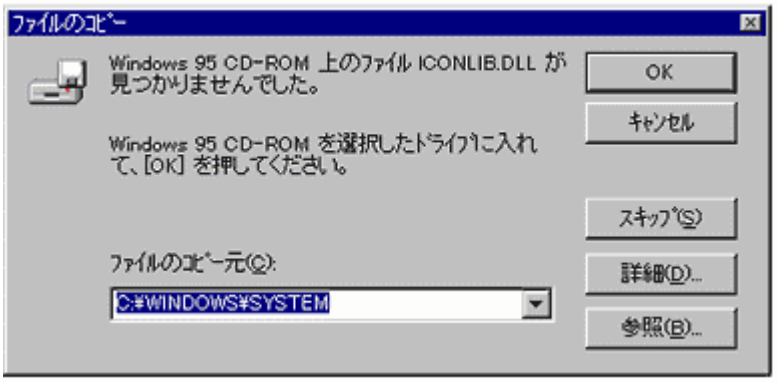


10. 「プリンタに使用するポートを選んで、 次へ]を押してください。」と表示され、 利用できるポートの表が表示されますので、 「LPT1:のプリンタポート」を選択 反転文字)して、 次へ」ボタンをクリックします。この利用ポートは後で変更します。

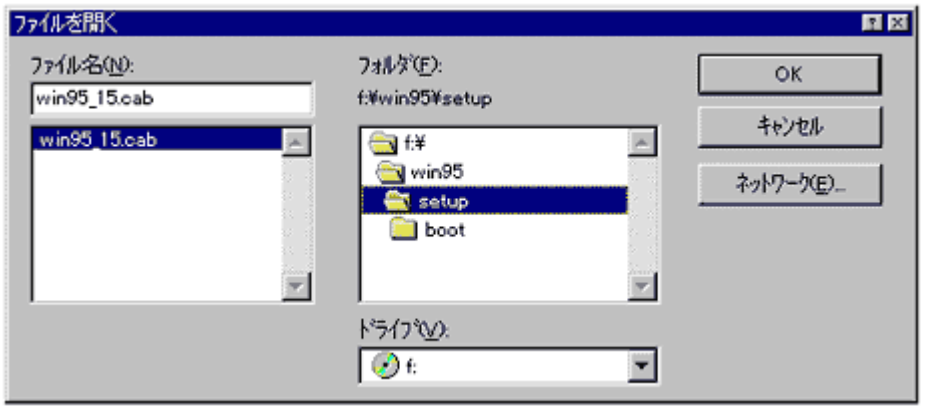
11. プリンタ名に「netfax01」が表示され、通常のプリンタとするかどうかを、選択後「完了」ボタンをクリックします。

12. 「ファイルのコピー」中に、「ICONLIB.DLL が見つかりませんでした」等のメッセージが表示された場合は、次の処理をしてください。

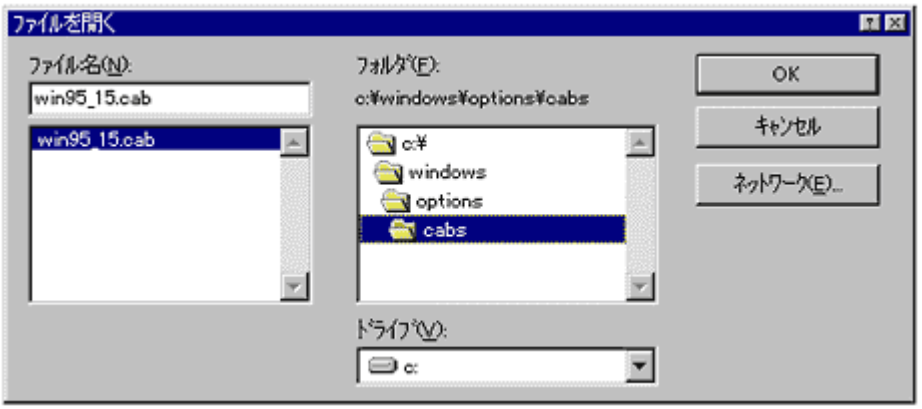
・既に他のプリンタドライバがインストールされている場合は、ハードディスク内にコピーされています。「ファイルのコピー元」にホームドライバの\windows\system と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。コピーが正常に行えた場合は、１３へ進んでください。



・メッセージの指定通り、Windows95/98 のシステム CD-ROM（あるいは FD）を、セットして「参照」をクリックします。CD-ROM ドライブ（あるいは FD ドライブ）から「Win95」フォルダーを指定して「OK」ボタンをクリックしてください。「Win95」フォルダがない場合は、CD-ROM ドライブ（あるいは FD ドライブ）から、.cab ファイル（例：WIN95_15.cab）が存在するフォルダーを検索して、そのフォルダーを指定してください。コピーが正常に行えた場合は、１３へ進んでください。



・プレインストールモデルのパソコンの場合は、メッセージが示す.cab ファイル（例：WIN95_15.cab）をハードディスクから検索し、そのフォルダーを指定して「OK」ボタンをクリックしてください。



13. ファイルのコピーが終了すると、「プリンタ」ウインドウに「Inetfax01」のアイコンが表示されます。これでプリンタドライバのインストールは完了です。

注意：インストール完了時に、「インストールエラー」メッセージが表示された場合

・インストールしたプリンタドライバを一旦削除します。

・\windows\system 配下に*****dpm95.ini ファイルが存在する場合は、そのファイルを違うフォルダーへ移動します。
・再度インストールを行ってください。

14. 次にLPRの設定ですが、今回初めてＬＰＲをダウンロードした場合で、より詳細な説明を知りたい方は、「LPR Windows95/98 日本語版取扱説明書」の「lprポートの登録方法」をご覧ください。また、既にインストールしてあるＬＰＲを使用する場合は、そちらの設定方法に従ってください。

まず、「プリンタ」ウインドウ上の「netfax01」アイコンを右クリックして、「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択してください。

15. 「netfax01 のプロパティ」が表示されます。「詳細」タブを選択し、「ポートの追加」ボタンをクリックしてください。「ポートの追加」ダイアログボックスが表示されます。

16. 「ポートの追加」で、「その他」を選択して、「追加するポートの種類」から「HLPRMON」を選択して、「OK」ボタンをクリックします。「lpr Port Name」ダイアログボックスが表示されます。

17. 例で表示されている書式で、インターネットFAXの IPアドレスに続けて「lp」と入力後「OK」を、クリックしてください。もし、既にlp が使用されていて、エラーになる場合は lpr とか別のユニークな名前にしてください。

18. 「netfax01 のプロパティ」に戻りますので、「印刷先のポート」に今入力した様に表示が変わっていることを確認後、「更新」、「OK」の順にクリックします。

以上でインストールがすべて完了しました。注意：
インストール完了時に、「インストールエラー」メッセージが表示された場合は、別の弊社製プリンタドライバ(OEM 版など)が既にインストールされていることが原因です。弊社製プリンタドライバを同時に２つ以上併用することはできません。本プリンタドライバを使用する場合には、別の弊社製プリンタドライバを登録から削除してから、再度本プリンタドライバをインストールし直す必要があります。
OEM 版弊社製プリンタドライバは現時点において以下の３種があり、削除すべきプリンタドライバ名は\windows\system 配下の、NTXDPM95.INI・SIXDPM95.INI・PBXDPM95.INI を参考にしてください。

・NTT 社：NTXDPM95.INI
・Siemence 社：SIXDPM95.INI
・PitneyBowes 社：PBXDPM95.INI

登録の削除方法は以下の通りです。
「プリンタ」画面から削除したいプリンタのアイコン上で右クリックをし、「削除」をクリックする。

4．インターネットＦＡＸのプリンタードライバーの使用方法について

インターネットＦＡＸのプリンタードライバーのインストールが終わると、インターネットＦＡＸをプリンターとして 使用することが出来ます。
実際の印刷の仕方は普通のプリンターを使う場合と同じようにして行います。
一般的には、「ファイル」メニューから 「印刷」を選択することになります。
（詳しくはそれぞれのソフトウェアのマニュアルを見てください。）
「印刷」の選択をすると、 「印刷」、「TIFFファイル作成」、「キャンセル」を選択する ダイアログボックスが表示されます。（一部のアプリケーションでは、ダイアログボックスが隠れる場合があります）
「印刷」は、インターネットＦＡＸへそのまま印刷する場合に選びます。
「TIFFファイル作成」は、後ほどインターネットＦＡＸへメールで送る場合に選びます。
「TIFFファイル作成」を選びますと、変換したTIFFファイルを保存する場所をどこにするか、 指定するために 「ファイル作成」のダイアログボックスが表示され ます。

- 「ドライブ」と「フォルダ」で、場所を指定してください。
- 「ファイル名」に、作成するファイル名を入力してください。 （拡張子 tif は変更しないでください。）
- 「ファイルの種類」は、変更しないでください。

「キャンセル」は、印刷を止める場合に選びます。